

ちばだい プレス

CHIBADAI
PRESS
千葉大学
広報誌

2021

VOL.

55

SPRING



特集

中山俊憲新学長に聞く

輝かしい未来を牽引する世界に冠たる千葉大学へ

新型コロナウイルス感染症への対応と 新しいキャンパスライフ

千葉大学 OBOGインタビュー

研究室訪問



CHIBA UNIVERSITY

中山俊憲 新学長に 聞く

輝かしい未来を牽引する
世界に冠たる千葉大学へ
World-leading, Innovative, Timeless, Harmonious

— 学長就任にあたっての想いを
お聞かせください

中山 今、学長に就任するにあたって、どうしても避けて通れないのが新型コロナウイルス感染症による社会の変容です。ニューノーマルという言葉も定着してきていますが、教育や研究においても、新しい方法を模索しながら大学を運営していくことになるのは間違いありません。ただ、過去の歴史を振り返ると、100年前にはスペイン風邪がありましたし、日本においては東日本大震災など様々な自然災害を経験してきました。私たちはそうしたピンチを乗り越えて今があるのですから、今回も過剰に悲観的になるのではなく、しっかり対策をしたうえで、新しい教育スタイルの創造に向けて、前向きにチャレンジしていくべきだというのが私の考えです。

また、千葉大学は、国際教養学部の創設や全員留学の実施など、グローバルな人材育成に力を入れていますが、この路線は今後も継承しつつ、社会の変容に合わせた形でさらに強化していきたいと考えています。

— これからの千葉大学が
果たすべき役割、目指す将来像を
お聞かせください

中山 これからの千葉大学が目指すゴールとして、「輝かしい未来を牽引する世界に冠たる千葉大学へ」というキャッチフレーズを打ち出しています。大学の使命は、「教育」「研究」「社会貢献」です。この3つの柱を念頭に置き、グローバルな人材の育成やイノベティブな研究開発の実現、地域の活性化とい

千葉大学の研究成果やポテンシャルを多くの人に知ってもらうために発信力を強化することが急務だと考えています



未来の千葉大学はどのようなのか？

グローバル人材の育成や様々な学術研究の推進、千葉大学のブランド力と経営力の強化などについて、中山俊憲新学長にインタビューしました。

た成果を生み出したいと思いますし、そのために学生と教職員が生き生きと活躍できる環境をつくるのが、私に求められている役割だと考えています。

— 具体的にどのような施策に
取り組んでいこうと考えていますか？

中山 施策として、「World-leading」「Innovative」「Timeless」「Harmonious」の4つを掲げています。それぞれの頭文字をつなげて「WITH」と呼んでいます。最初の「World-leading」は、世界を牽引できるような研究についての施策です。学問の多様性を尊重しつつ独創性に富んだ学術研究や、社会に変革をもたらすイノベティブな研究開発を目指します。学生の知的好奇心を満たすような最先端の研究やユニークな研究を行うことで、千葉大学のブランド力も高まりますし、様々な形のイノベーションにもつながっていくと思います。国内外の大学、研究機関、企業などとの連携もさらに進めることで、世界水準の卓越した大学として発展できることを期待しています。

続いて2つめの「Innovative」は、教育における改革と進化を指します。千葉大学では、最高学府にふさわしい優れた学問を学修する過程で、学生が幅広い知識と豊かな知性、高度な専門性を身に付ける機会を得て、最終的にグローバルな舞台上で活躍できるような人材に育つことを目指しています。また、ポストコロナ時代に対応した斬新で多様な教育システムの確立と定着を目指します。さらに、大学での教育は研究活動のなかで行う必要があるというのが私の考えで、学生の皆さんには研究を通して課題解決型の人材に育ってほしいと考えています。

— 3つめの「Timeless」は、
長期的展望とのことですが、
これは大学運営に関する部分ですね

中山 そうです。2004年に国立大学が法人化されて以降、運営費交付金が段階的に減額されており、国立大学も独自資金を獲得する必要性に迫られています。研究費や企業との共同研究など、外部資金の獲得については、徳久前学長時代に産学官連携を

活性化する新たな組織が立ち上がり、私もその組織を最大限活用しようと考えています。外部資金の獲得のために重要だと考えているのが発信力の強化です。千葉大学には素晴らしい研究成果がたくさんあるので、学長企画室を設置し、私自身が旗振り役になって大いにアピールしていくつもりです。

そしてもう一点、これからの大学は、金融や資産運用といった経営的視点も必要です。大学の教職員は、そういう面でどうしても力不足なので、学外の専門家を大学の執行部に任命するなど、経営力強化に努めていきます。人件費や設備費をしっかり確保することで、新しい知識や能力を持った教員も雇用でき、永続的に独創的な研究を生むサイクルも構築できると考えています。

最後の「Harmonious」は、調和という意味ですが、多様性を尊重した大学というアカデミア環境を指しています。そのためには、学生だけでなく、全教職員が生き生きと活躍できる環境である必要があります。社会のニーズとして働き方改革が叫ばれるなか、大学も新しいワークスタイルに適應していくべきだと私は考えています。会議のオンライン化の推進など、すぐにできることはいくらかでもありますし、効率化で余裕が生まれれば、改善のためのアイデアを検討する時間もつくれます。教職員が適材適所でやりがいを持って活躍し、正しく評価されるような職場環境を充実させたいと思います。

— 中山学長と千葉大学との最初のご縁はどのようなものでしたか？

中山 大学生のときに、免疫学の多田富雄先生の講演を聞く機会があり、その内容に魅せられたことがきっかけで免疫学研究の道に進んだのですが、この多田先生が千葉大学医学部のご出身でした。徳久前学長も研究者としての専門分野が免疫学ですが、千葉大学は多田先生から連続と続く国内有数の免疫学の伝統があります。私が免疫学を志した当時、多田先生は東京大学に研究室をお持ちだったので、私も山口大学から東京大学の大学院に進みましたが、海外留学などを経て千葉大学に助教授として赴任し、こうして学長を拝命することになったのは強いご縁を感じます。

— 助教授として赴任された当時の千葉大学の印象と、現在までの変化をどのように感じていますか

中山 千葉大学は、私が赴任した当時から研究は世界トップレベルの水準だったという印象です。雰囲気も温かく、居心地の良い研究環境だと感じました。最先端研究は競争の世界ではありますが、過度に意識しすぎると安易な結果に飛びついてしまう危険性があります。千葉大学は、都心の大学ほど競争意識が激しくなく、視野を広く持てるので、研究の内容をより意味のあるものにするのを優先できる環境だと感じた記憶があります。

こうした環境は今でも基本的に変化していないと思いますが、優れた教育、研究、社会貢献を実現していくには、社会の変容や最先端の研究の動向に合わせて、組織や体制を変えていく必要も出てくるだろうと予測しています。自分なりのアイデアは準備し



プライベートでは、研究や職務のストレス解消を兼ねてゴルフをたしなむ。1ラウンドで平均約20,000歩あるくため、メタボ対策(悪玉コレステロール値や尿酸値の上昇を抑える)としても有用。写真は、175ヤードを5番アイアンで狙った時の写真。

父親の影響で始めたカメラが趣味。若い頃は6×7(ロクナナ)と呼ばれる大判のフィルムカメラを抱えて撮影旅行に行ったこともある。当時のカメラは思い出の品として防湿庫に保管。最近ではデジタルカメラで学内の風景を撮ることも(写真)。



ているので、学長としてリーダーシップを発揮して取り組んでいきたいですね。

— 最後に、学生の皆さんへのメッセージをお願いします

中山 学生に対しても教職員に対しても、新しいことにチャレンジする気持ちを持ってほしいと思っています。千葉大学の学生は大きなポテンシャルを持ってはいるのですが、ややおとなしい優等生タイプが多いように感じます。グローバルな舞台で活躍するには、大いなるチャレンジ精神が原動力となるので、自分の得意分

野を伸ばすとともに、外に目を向けていろいろなことに挑戦してみてください。幸いなことに、千葉大学では最近、グローバルな視点を持った学生、チャレンジ精神旺盛な学生が増えています。大学は多様な価値観を持った人と交流できる場なので、どんどん刺激を受けることで自分を成長させていってくれば嬉しく思います。

教員や職員の皆さんについても、各々の専門性を生かしながら全員が生き生きと活躍できる環境をさらに充実させていきます。学生、教員、職員が「WITH」を合言葉に力を合わせて、「世界に冠たる千葉大学」をつくっていきましょう。



中山 俊憲 (なかやま・としのり)
1959年5月20日生

■ 経 歴

- 1984年 3月 山口大学医学部卒業
- 4月 東京大学大学院医学系研究科第三基礎医学専攻入学
- 1988年 3月 同修了(医学博士)
- 6月 米国立癌研究所 客員研究員
- 1991年 7月 東京大学医学部免疫学教室 助手
- 1995年 4月 東京理科大学生命科学研究所 助教授
- 1998年 4月 千葉大学大学院医学研究科 助教授
- 2001年 4月 千葉大学大学院医学研究院 教授
- 2005年 4月 千葉大学バイオメディカル研究センター長併任(2009年3月まで)
- 2009年 4月 千葉大学大学院医学研究院附属動物実験施設長併任(2015年3月まで)
- 2011年 4月 千葉大学医学研究院副研究科長(2015年3月まで)
- 2012年 1月 千葉大学未来医療教育研究センター長併任(2015年3月まで)
- 2014年 7月 千葉大学 副学長
千葉大学未来医療教育研究機構長併任
- 2015年 4月 千葉大学大学院医学研究院長・医学部長
- 2018年 3月 南カリフォルニア大学ケック医学校 客員教授
- 8月 カリフォルニア大学医学部サンディエゴ校 兼任教授
千葉大学サンディエゴ・キャンパス キャンパス長
- 2021年 4月 千葉大学長

■ 学 位

医学博士(東京大学)

■ 専門分野

免疫学・アレルギー学

■ 学会活動

日本免疫学会、日本癌学会、日本アレルギー学会、日本がん免疫学会、日本バイオイメージング学会、日本分子生物学会、The American Association of Immunologists, USA

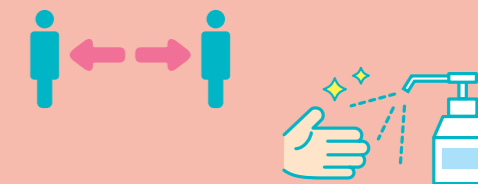
■ 座右の銘

「全力で走れ」

何かに挑戦するときに、とにかく一度は全力でやってみることが重要だと思います。限界までやることで、自分の限界を知ることができますし、逆に自分が得意なものが何かもわかるからです。私自身、自分が不得手な分野は得意な人に任せ、自分の得意分野を伸ばすことで、成長できたという実感があります。学長としても、個々の課題は適材適所のスタッフを信頼して任せ、私は学長としての責務をしっかりと果たしていきたいと思っています。

新型コロナウイルス感染症への対応と新しいキャンパスライフ

皆さんに安心して安全なキャンパスライフを過ごしてもらうため千葉大学が取り組んでいることをご紹介します。



◆ 施設

学生の皆さんが安心して大学に来られるよう、各所にアルコール消毒液やアクリル板等を設置しています。講義室や附属図書館でも適切な距離が取れるよう工夫をしています。

講義室や課外活動施設の入り口にアルコール消毒液を設置。また、こまめな手洗いを心がけてもらうため新たに手洗い場を設置しました。



学生の皆さんがよく訪れる学生支援課の窓口には、ビニールシートを設置しています。



授業中は換気をし、座席の間隔を空けています。図書館でも、入り口にアルコール消毒液を置き、館内は一部エリアを除いて会話・発話を禁止するなどの工夫をしています。また、学内でもメディア授業を受けられるよう、学習スペースを設けている学部もあります。



左 講義室：歌唱表現の実習では、歌唱時の口元を見るため、フェイスシールドを使用し、教員と学生の間にビニールシートを設置

右上 図書館：アクリル板等を設置し、向かい合わせにならないよう、椅子は対角に配置

右下 学習室：文学部・法政経学部の学習スペース。学生が使用する際にアルコール消毒液等を貸し出し

キャンパス内の様々な場所でニシ・イノ・マツがソーシャルディスタンスを保つよう呼び掛けています。



◆ 課外活動

各団体の特徴に合わせて学生自らが計画し、教職員・学校医が確認した感染対策のルールを守りながら活動しています。新入生の勧誘に関しては、自分たちの活動を知ってもらう機会が少ない中、オンライン課外活動やSNSで活動内容を紹介するなどの方法で参加を呼びかけています。

サッカー部では、週5日の練習が4日になり、練習メニューも限られたものしかできない状況ですが、新入生勧誘にあたって部員にアンケートをとり部活動の実態を紹介したり、練習試合のビデオを公開しています。



2021年度の目標は、大学選手権ベスト4・リーグ戦1部残留です。このような状況ですが、目標を達成できるように力を尽くしていきたいと思えます。応援よろしくお願いします！
(教育学部2年 石原英明さん)



千葉大生によるボランティア団体である「ふれあいの環」は、感染対策の啓発ポスターを作成し、アクティブラーニングゾーンに設置しています。



これ以上感染を広げないために、学生も改めて自分の行動に対する意識を高める必要があると感じ、そのきっかけになればとポスターを制作しました。学生生活も様式が大きく変わってしまったなかで、今、自分たちができる学生支援活動とはどのようなものか考え、活動していきたいです。
(法政経学部2年 松本陽菜さん)



◆ 健康相談

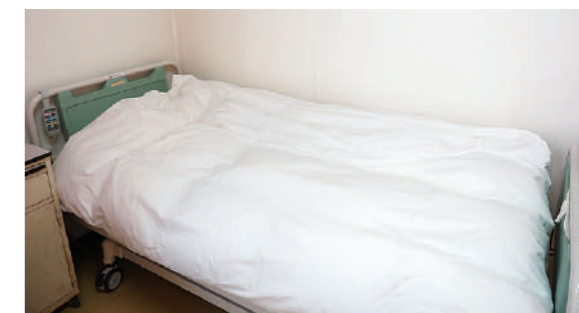
体調に不安を感じたとき、体調が悪くなったときは総合安全衛生管理機構に相談してください。

各キャンパスに保健室があり、常駐する医師・看護師に心身の健康に関する相談ができます。また、メールによる健康相談も行っています。

キャンパス内で体調が悪くなったときは、保健室で応急処置を受けたり、休養をとったりできます。無理をせず、お気軽にご利用ください。



心と身体の健康で心配なことは、なんでも気軽に相談してください。私たちは学生の皆さんの健康サポーターです！風邪気味なら自宅で休む、マスクと手洗い忘れず！健康診断で皆さんにお会いできる日を待っています！(左から看護師の鍋田さん、医師の潤間先生、保健師の田中さん)



総合安全衛生管理機構について、詳しくはホームページをご覧ください。



エンターテインメントを通して人に寄り添えるのが
演出の醍醐味。だから多くの人に作品を届けたい。

株式会社TBSスパークル エンタテインメント本部
ドラマ映画部 プロデューサー／ディレクター

塚原 あゆ子 さん



『グランメゾン東京』『アンナチュラル』『MIU404』
などの話題作を数多く演出してきた塚原あゆ子さん。
仕事のやりがいや作品への想い、今後やりたいこと、
千葉大学時代の思い出などを語っていただきました。

塚原 あゆ子(つかはら あゆこ)
株式会社TBSスパークル エンタテインメント本部 ドラマ映画部 プロデューサー／ディレクター。千葉大学文学部文芸学科卒業後、TBSスパークルの前身である木下プロダクションに入社。助監督を経て、2005年『夢で逢いましょう』でドラマ監督デビュー。数々の大ヒットドラマのディレクターを務め、2018年には『コーヒーが冷めないうちに』で映画監督デビューも果たした。2021年3月に2020年度芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞。

実績を積むことで自分の チームのブランド力を高める

— ドラマのディレクターとはどのような仕事ですか。

塚原 ドラマというのは、企画や原作があり、台本、配役、撮影、編集などを経て作品になっていくわけですが、ディレクターはそのすべてに関わっています。なかでも大きな比重を占めているのは、文字で書かれた台本の世界を、映像の世界に置き換えていく作業です。文字だけでは見えていない部分を可視化し、ドラマの世界観をつくり上げ、技術的な課題を解決していきます。こうした作業は、ディレクター1人では実現できません。各工程を担当するスタッフがいて、チームとして作品づくりに取り組んでいくのですが、要所で判断を下し、生み出す作品のクオリティに責任を持つのがディレクターの役割です。

— 具体的にチームでどのように進めていくのですか。

塚原 連続ドラマの場合、一作品につきスタッフはおおよそ200名ほどいます。その半分は私がいつも一緒に仕事をするいわば「塚原チーム」。ドラマのディレクターとして思い通りの仕事をするには、実績を積んで自分のチームのブランド力を高める必要がありますが、私も多くの人に助けられながら一つずつ実績を積み重ねたことで、今は思い切り作品づくりに打ち込めるチームを持つことができています。そしてもう半分は、作品ごとに集められるスタッフです。なぜ作品ごとに違うかということ、それぞれのドラマのテーマに合わせた専門家に集まっていたからです。例えば、事件を扱うようなドラマなら警察や司法に詳しい専門家チーム、レストランが舞台のドラマなら料理や飲食業に詳しい専門家を集めたチームを編成します。自分にはなれないので、監修者に助けていただきながらドラマの世界をつくっていくわけですね。



2021年4月スタートの『着飾る恋には理由があって』は、塚原さんがディレクターとして初めて挑戦する本格恋愛ドラマ。着飾ることで自分の居場所を得ていたヒロインが、価値観の違う人々との共同生活のなかで自分らしい恋を見つける“うちキュン”ラブストーリーです。

多くの人にエンタメを届けるために いろいろな可能性を模索したい

— 話題作を多く手掛けていますが印象に残っている作品は？

塚原 どれも大切な作品なので絞るのはなかなか難しいのですが、自分のチームで制作したもので、湊かなえさんの小説をドラマ化した『夜行観覧車』『Nのために』『リバース』の3本、脚本家の野木亜紀子さんと組んだオリジナル作品の『アンナチュラル』『MIU404』が印象に残っています。湊さん原作のシリーズは、モノローグの内省的な世界をどう映像化するかに挑戦したという点で思い出深い作品です。また、『アンナチュラル』と『MIU404』は、テーマが法医学と機動捜査隊という特殊なものだったため、専門家の協力のもと、作品の世界をつくり上げていきました。外部から指名をいただいて自分のチームを離れて仕事をするということもあるのですが、そうした作品では『グランメゾン東京』や、初めて映画の監督を務めさせていただいた『コーヒーが冷めないうちに』が印象深いですね。

— 仕事のやりがいやこれから挑戦していきたいことを教えてください。

塚原 ドラマづくりのやりがいは、エンターテインメントを通して多くの人に寄り添えることですが、近年、若い世代を中心に視聴者のテレビ離れが進んでいるといわれています。今は他局との視聴率競争だけでなく、海外発のプラットフォームやインターネット配信なども競わなければならない時代ですし、テレビを見ない層にどうすれば作品が届くかをテレビ局も模索しています。そんななかでこれから挑戦したいのは、コンテンツとしての広がり意識したドラマづくりです。広がりというのは、ゲームやアニメなど他ジャンルへの横展開、様々なクリエイターとのコラボレーション、さらには海外進出などが考えられると思います。また、新型コロナウイルス感染症の流行以降は、家で見たいときに見られるコンテンツの重要性も感じています。作品が流通できる方法を多様化していくとともに、多くの方に見たいと思ってもらえる作品づくりをしていきたいと考えています。

今の自分は未来の自分の一部 学生時代を大切に過ごしてほしい

— 大学時代の思い出をお聞かせください。

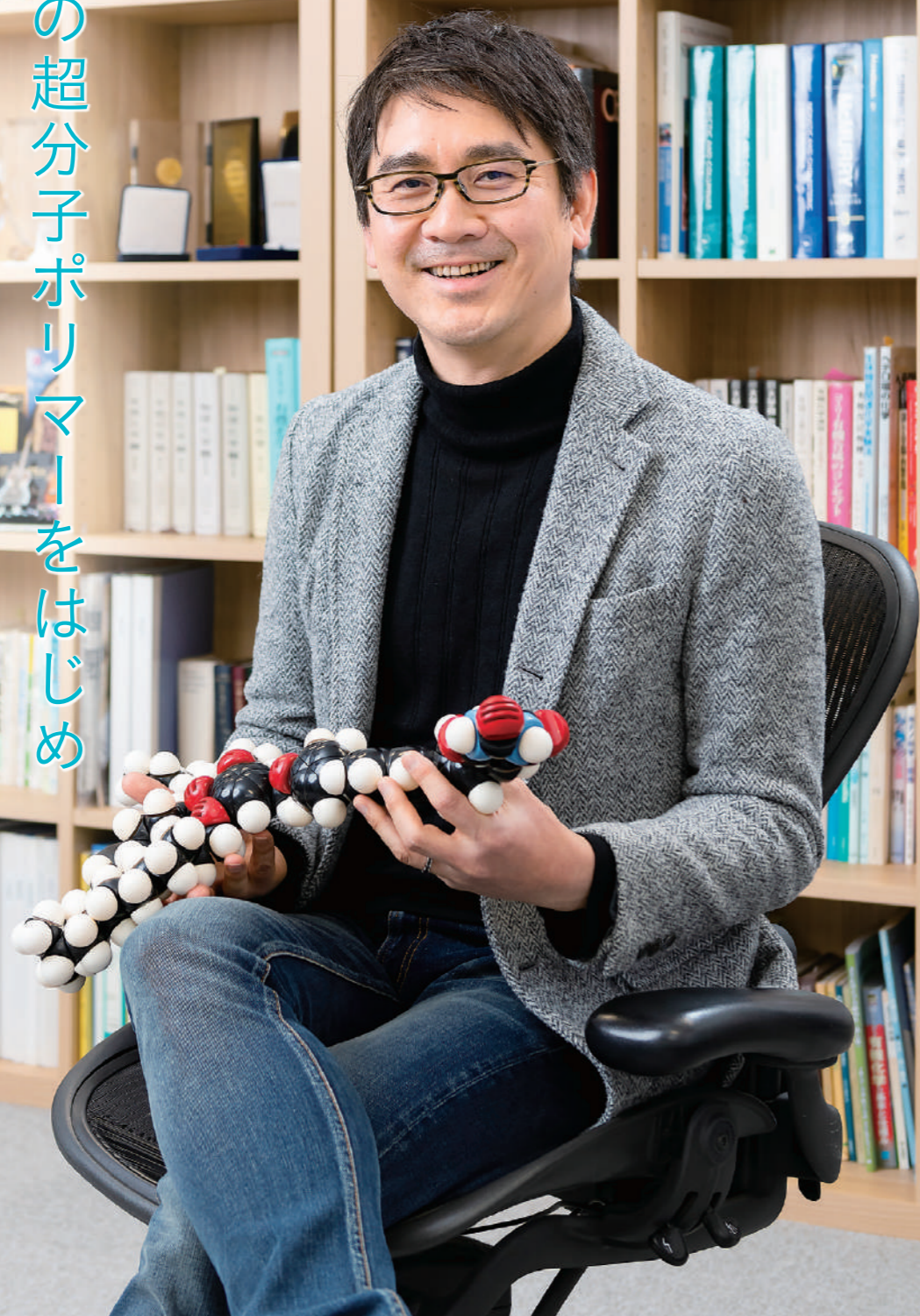
塚原 一番打ち込んでいたのは演劇です。千葉大学演劇部の「劇団個人主義」に所属し、舞台に立ったり演出を担当したりしていたほか、東京の劇団でも裏方として手伝いをしていました。キャンパスで印象に残っているのは、西千葉キャンパス内の桜並木です。合格発表を見に行ったときに感動した記憶があります。ご縁があったら、いつか思い出深いキャンパスでドラマのロケをしてみたいですね。

— 最後に、学生の皆さんへのメッセージをお願いします。

塚原 大学時代というのはそれぞれがいろいろな体験をするものだと思います。私の場合は、それが演劇であり、間違いなく今の自分の一部になっています。今は新型コロナウイルス感染症の影響で、様々な影響が出ていると思いますが、必ず今の自分が未来の自分を形づくっていくはずなので、特別な時代を生きていることを前向きに捉えて、学生時代を大切に過ごしてほしいと思います。

千葉大学 大学院 融合理工学府 共生応用化学コース
分子集合体化学研究室

五輪構造の超分子ポリマーをはじめ
ユニークな形と機能を持った
様々なナノ材料の開発に成功



矢貝 史樹(やがい しき)
千葉大学グローバルプロミネント研究基幹教授。立命館大学大学院理工学研究科で理学博士課程修了後、2002年に助手として千葉大学に赴任。2007年に助教、2010年に准教授を経て、2017年より教授。

分子集合体の応用研究から超分子ポリマーの基礎研究へとシフトチェンジし、新素材として期待される様々な超分子ポリマーの合成に成功している矢貝史樹教授。研究内容や基礎研究の醍醐味などについて話を伺いました。

研究対象の超分子ポリマーについて教えてください

超分子ポリマーは、非共有結合という弱力で結びついた分子集合体です。分子レベルまで分解できたり、もとの状態に自己修復できたり、一定条件で自動的に構造を変化させたりできる性質があります。こうした構造面での特性は、従来のポリマーにはなかったもので、あらゆる分野に応用できる新しい機能性材料として、ここ20年ほどで注目を浴びています。

これまでの研究成果について教えてください

もともと私の研究室では、超分子ポリマーに限らず、様々な分子集合体の応用研究を行っていました。分子の構造変化を利用し、2014年には刺激で色が変わる発光材料、2016年には水素結合による太陽電池といった成果を上げています。しかし、応用研究をするなかで、欲しい分子構造を得ることの難しさを感じていたため、もっと本質的な原理や仕組みを解明したいという気持ちが芽生え、現在では超分子ポリマーの基礎研究へとシフトチェンジしています。2018年ごろからは様々な構造の新しい超分子ポリ

マーの合成に成功していますが、その一例が、リング状に自己集合する分子集合体をつないでいく技術です。最初は1つのリングでしたが、原理がわかるにつれて複数のリングをつなげて合成できるようになり、2020年にはオリンピックのシンボルマークのような五輪の形にひとりにつながるようにになりました。さらにその幾何学構造を世界で初めて可視化することにも成功しました。このリングはバネのような柔軟性のある構造になっているので、柔らかい素材に応用できるのではないかと期待しています。

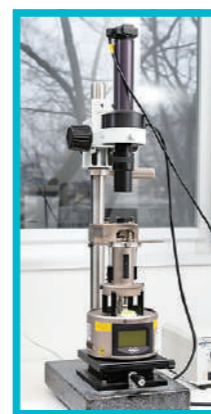
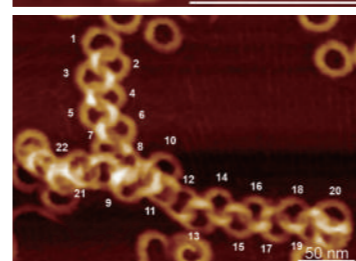
基礎研究のやりがいは何でしょう

あらゆる分野に応用できる可能性があるという点が、基礎研究の最大の魅力だと思います。現在、私たちが使っている素材も、何十年も前に先人が研究したものを応用しているケースが少なくありません。自分が合成した超分子ポリマーが、新素材として社会のあらゆるところで役に立つというのは大きなやりがいだと思います。ただ、基礎研究というのは、最初から特定の目的があるものではありません。研究で優れた成果を上げる秘訣は、自由な発想で楽しむことだと考え

ているので、まずは自分で設計した超分子ポリマーの合成に挑戦することが重要です。先ほどの五輪構造のように、分子は私たちの想像をはるかに超えた姿を見せてくれるので、そこから合成プロセスを解析したり、どのような機能があるかを分析したりして、応用につなげていくことができます。超分子ポリマーの応用範囲は無敵大なので、どんな形で世の中の役に立ってくれるのかを想像するのも基礎研究の醍醐味です。

学生の皆さんへのメッセージをお願いします

理系文系を問わず、研究をしているといろいろな能力が必要だということがわかってくると思います。研究のための思考力や調査力はもちろん、研究を進めるうえでは周囲とのコミュニケーションも必要ですし、得られた結果を人に正しく伝える能力も身に付けるべきです。そこまでやって初めて一つの研究を全うしたことになりますし、そうやって学んだプロセスは社会人として課題解決に取り組む際にも必ず役立ちます。大変さを楽しみながらいろいろなことに挑戦して、経験値を高めていってください。



左上: 五輪構造のカテナン
リング状の分子集合体をつなぐことで五輪構造の超分子ポリマー合成に成功。他にもらせん状など、様々な構造の超分子ポリマーの合成に成功している
左下: 長く連なったポリカテナン
20個の環構造が直線状に繋がっており、さらに8、19番目の環は三つの環と繋がっており、分岐構造になっている
中・右: 原子間力顕微鏡(AFM)
原子の間に働く力を検出することでナノサイズの超分子ポリマーの構造を可視化できる原子間力顕微鏡(AFM)。五輪構造の画像もこの顕微鏡で撮影された

nm=ナノメートル(1nm=0.0001mm)

INFORMATION

墨田サテライトキャンパス開設 分野横断的デザイン教育・研究を展開

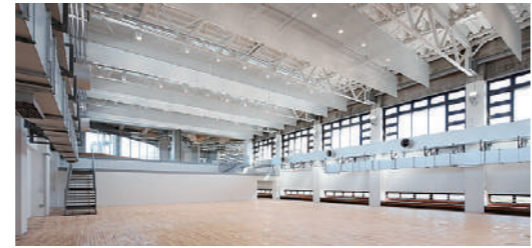
2021年4月、工学部100周年を機に、教育・研究のさらなる発展を目指して、「千葉大学墨田サテライトキャンパス」を東京都墨田区に開設します。墨田区が所有するすみだ中小企業センターを改修して最先端施設にリニューアルするものであり、大型施設の自治体からの借用は本学にとって初めての試みです。

本キャンパスは、「生活の全てをシミュレートする」をコンセプトに、建物全体が実証実験空間となる施設です。地下1階から地上2階は地域開放エリアとなり、地域が大学の取り組みを身近に感じられる環境を構築し、地上3階から5階の大学専用エリアではクリエイティブな教育研究を展開します。

また、キャンパス開設と同時に、デザイン分野の総合的教育・研究拠点となる「デザイン・リサーチ・インスティテュート(dri)」を新たに設置します。driでは、多様な高度実務家教員の採用、大空間を活かした実物大の総合的プロトタイプングなどにより、分野横断的なデザイン教育・研究を展開していきます。



キャンパス入口(1階東側)



イノベーションアトリエ(4階西側)

INFORMATION

千葉大学の知の結晶に触れる 本のポータルサイトを公開

アカデミック・リンク・センター/附属図書館は、千葉大学の研究成果を紹介するポータルサイト「千葉大学の本棚：cu-Books」をオープンしました(<https://www.ll.chiba-u.jp/cu-books/>)。このウェブサイトでは、千葉大学所属の研究者の研究成果(附属図書館に収蔵されている図書や、学術成果リポジトリ(CURATOR)で公開された学術論文等)を紹介しており、図書の所蔵場所確認や電子版での閲覧ができます。千葉大学の多彩な知の結晶をご覧ください。



千葉大学の本棚：cu-Booksのウェブサイト

EVENT

千葉台湾地方創生プラン コンテストを開催

コミュニティ・イノベーションオフィスは、「千葉に台湾をインストールしよう!『千葉台湾地方創生プランコンテスト』」を開催し、1月28日に受賞者を決定しました。本コンテストは、普遍教育科目「千葉台湾ローカルPBL(Project Based Learning)」の連動企画であり、台湾の歴史・文化・慣習などを千葉と関連づけることにより、新商品開発や観光プラン、国際交流など、千葉の地域を活性化する地方創生プランを募ったものです。参加者からは新たなビジネスモデルを創造する様々な企画が提案されました。



最優秀賞のグラントさん(中央)と、優秀賞を代表して木本さん(左)、秦さん(右)

INFORMATION

医学系総合研究棟(治療学研究棟)が完成

1937年8月に完成した旧医学部附属病院を前身とする現在の医学部本館は日本を代表する教育研究施設の一つとして、「千葉医学」の精神のもと、医学・医療界に有能な人材を多数輩出してきました。時代を経て施設の老朽化が進むなか、今後、医学部がより一層発展し、次世代の医学・治療を担う「治療学」の創成を進めていくため、新棟の建設が決定し、2021年4月に、医学系総合研究棟(治療学研究棟)が完成します。



正面玄関

新しい研究棟は、1階から4階に実習室、グループ学習室、福利厚生施設等を配置し、5階から11階の実験・研究エリアは、広大で多機能な研究環境による革新的な研究の創出が期待されます。また、今年1月にオープンした医学部附属病院新中央診療棟と連絡通路で結ばれ、臨床の現場と教育研究の場のより強い連携を実現します。



医学系総合研究棟外観

INFORMATION

オープン・イノベーション・ スペースが完成

学術研究・イノベーション推進機構(Academic Research & Innovation Management Organization: IMO)に、4月にオープン・イノベーション・スペースが完成します。学内外の研究者、中小・ベンチャー企業、起業家、学生などの交流を促進し、技術者と経営者のマッチングや異分野の研究の融合などオープンスペースならではのイノベーションを推進します。ワークスペースとして、またWEB会議、グループミーティングなどに、誰でも気軽に利用できます。研究支援・産学連携に関する情報も発信していきます。



西千葉駅から徒歩すぐ、明るい雰囲気のリリースペース

INFORMATION

学生たちがテイクアウトマップ で地域の飲食店を応援!

2020年12月、千葉大学環境ISO学生委員会は、地域社会を応援する企画として、西千葉キャンパス周辺でテイクアウトが可能な飲食店の情報を掲載した「もくもく! テイクアウトマップ in にしちば」を作成しました。地域住民の皆さんにコロナ禍で増えた家での食事でもお店の味を楽しんでいただくとともに、地域の飲食店を応援することを目的とし、手描き調のかわいいマップ上に店名とともにいおしメニュー、アピールポイント、写真、店舗情報を掲載しています。



千葉大学周辺の町内自治会、学内掲示板、TwitterやFacebook等で配信

AWARD

国際教養学部棟が 情報デザインの国際賞を受賞

西千葉キャンパスの国際教養学部棟(総合校舎G8)が、2020年情報デザインの国際アワードであるIIID(The International Institute for Information Design) award2020で銀賞を受賞しました。一人の人間と一つの価値観を強い一本の線で表し、線と線が重なり集合することで多様な価値観を許容した「大きな世界」を私たちの手で作っていこう!というメッセージが込められています。



壁に大きく描かれた階数表示は階ごとに異なるカラーを使用している

EVENT

春のエコチルイベント 「キットパスで作品展」を開催

予防医学センターは、3月29日から3Dパッチャル展示会「春のエコチルイベント『キットパスで作品展』」を公開中です(<https://cpms.chiba-u.jp/kodomo/>)。エコチル調査参加者の子どもたちがキットパスという筆記具を使って描いた作品を募集し、子どもたちの自由な発想でデザインされた色とりどりの作品が多数寄せられました。



作品展の様子

INFORMATION

コロナワクチンセンターの 運用開始

医学部附属病院は、職員や地域医療関係者等への新型コロナウイルスワクチンの接種とその有効性・安全性を研究する「コロナワクチンセンター」を2021年2月に設置しました。同センターでは、ワクチンを接種する附属病院の職員1,000人以上を対象に、1回目の接種前と2回目の接種後に血液と唾液を採取し、抗体価の評価やワクチンの効果・副反応・免疫応答等に関する日本独自の研究を進め、高度先進医療の提供と地域医療への貢献を目指します。

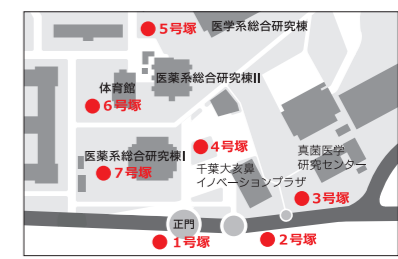


ワクチンを接種する横手病院長(左)

もっと
知りたい
千葉大学

亥鼻キャンパスに祀られている 「牛頭天王」

コロナの流行により疫除けのアマビエに脚光が当たっています。一方、平安時代に京都で流行した疫病封じのため、祇園社に祀られたのが牛頭天王でした。実は医学部と薬学部周辺にある大樹と祠7つからなる「七天王塚」はこれを祀ったもので、石碑の一つには「安永二年(1773)」の文字も見えます。医学部の前身校が1890年に亥鼻の地に移ってくる何百年も前から庶民の信仰を集めていたのです。(大学院国際学術研究院 見城悌治)



七天王塚の配置



CHIBA TOMO NEWS

千葉大学マスコット「ニシ」、「イノ」、「マツ」より
ニュースをお届けします！

vol.04

CHIBA TOMOものがたり 8時限



ニシ この春からは、昨年始めたギターをもっと極めようと思っている。
イノ 次のお正月こそたこより高く飛べるよう、もっと練習しようと思っている。
マツ 春はお花がたくさん。この春は生け花に挑戦しようと思っている。

CHIBA TOMO とは…
2019年に千葉大学に誕生した、3つのキャンパスをかたどったマスコット、うさぎの「ニシ」、かめの「イノ」、さいの「マツ」の3人組。

千葉大学 桜の名所案内!

春になると各キャンパスで桜が満開になります。桜が見られるおすすめスポットをニシ・イノ・マツが紹介します。

おすすめスポット

- 西千葉キャンパスのやよい通りにはピンクの絨毯ができるよ!** (In the Yayoi Street of the West Chiba Campus, a pink carpet can be made!)
- 安鼻キャンパスからは千葉城が見えるよ!** (From the Anohi Campus, you can see Chiba Castle!)
- 松戸キャンパスにも桜の木がいっぱい!** (There are also many cherry blossom trees at the Matsuuro Campus!)



千葉大学基金はチャレンジを支え、人の未来を育てる基金です

たくさんのご寄付や応援メッセージをありがとうございます!

新型コロナウイルスの影響で経済的支援が必要な学生のために、卒業生、在学生の保護者様、その他学内外からたくさんのご寄付を賜りました。心よりお礼申し上げます。
千葉大学は、学生が学業に専念できるよう、これからもサポートしてまいります。引き続きご支援をお願いいたします。

令和3年1月末現在の寄付状況
寄付件数 **6,702**件 寄付総額 **3億8,226万円**

「若手研究者支援基金」への寄付が税額控除の適用になります

優秀な若手研究者が、自立した研究者としての研究活動ができるよう支援する基金です。個人からのご寄付については、従来の「所得控除」に加え、新たに「税額控除」が適用されます。本学の更なる『研究力強化』に繋がるよう大切に活用させていただきます。

けやき会館に寄付者銘板を設置しています

千葉大学では、基金に一定以上の金額をご寄付いただき、お名前の公表を承諾された方を対象に、西千葉キャンパスのけやき会館に銘板を掲示しています。詳細については基金室までお気軽にお問い合わせください。

お申し込み方法

銀行・ゆうちょ窓口でのご寄付	千葉大学基金室(043-290-2014)までご連絡ください。お名前・ご住所をお伺いし、振込用紙を送付いたします。
クレジットカードでのご寄付	千葉大学基金のホームページからご寄付をお願いいたします。
遺贈によるご寄付	遺贈によるご寄付も承っております。詳しくは、千葉大学基金室(043-290-3902)までご相談ください。

お問い合わせ先 **千葉大学基金室**

メール kikin@office.chiba-u.jp

ホームページ <https://kikin.chiba-u.ac.jp> 千葉大学基金

住所 〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33

043-290-2014

ご不明な点がございましたら、遠慮なくお問い合わせください。

INDEX VOL.55

02 中山俊憲新学長に聞く

輝かしい未来を牽引する世界に冠たる千葉大学へ

2021年春、中山新学長による新体制がスタート。学生、教職員全員と一緒に (WITH) 目指す「未来の千葉大学像」を語っていただきました。



02

06 新型コロナウイルス感染症への対応と新しいキャンパスライフ

コロナ禍のなか、感染拡大を防ぎつつ、質の高い教育の場を維持するための千葉大学の様々な取り組みを紹介します。



06

08 千葉大学 OBOG インタビュー

ミステリーからアクション、ラブストーリーまで、数多くの人気テレビドラマの演出を手掛けるOGが登場!



08

10 研究室訪問

新素材として多分野から注目を集める超分子ポリマーの基礎研究に取り組む
 千葉大学 大学院 融合理工学府 共生応用化学コース
 分子集合体化学研究室 矢貝史樹 教授



10

12 TOPICS / もっと知りたい千葉大学

14 CHIBA TOMO NEWS

